

室蘭工業大学
平成27年度 企業アンケート

集計結果報告書
平成28年1月

目次

1. 調査の概要.....	4
2. 調査結果の要約.....	5
3. 調査集計結果.....	7
I-1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度.....	7
I-2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識.....	8
I-3. 本学の就職支援活動についての印象.....	9
I-4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲.....	10
I-5. 本学卒業者の採用理由.....	11
I-6. 本学卒業者の採用状況.....	12
I-7. 本学卒業者の職種.....	15
II-1. 本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想.....	16
II-2. 本学の学生への教育活動についての感想.....	20
II-3. 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点(自由回答).....	21
II-4. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答).....	24

1. 調査の概要

- ①実施時期：平成27年8月～10月
- ②対象：室蘭工業大学 卒業生採用企業より抽出した505社
- ③方式：郵送依頼・郵送回収方式
- ④回答・回収状況：167社（回収率：33.1%）
- ⑤集計・分析にあたっての回答企業の処理：

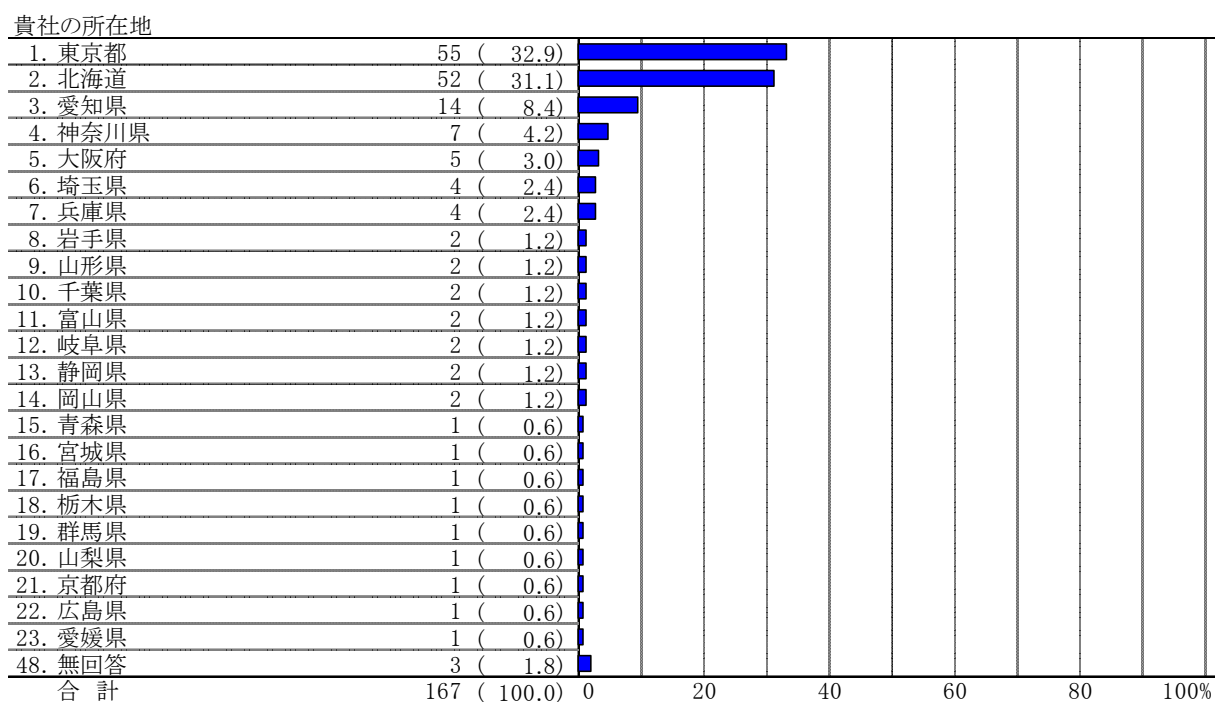
本調査では回答企業の評価を学科別に分析することを目的に、一企業で例えば「建設システム工学科」と「機械システム工学科」について雇用実績があれば2社という扱いにし、「建設システム工学科」と「機械システム工学科」卒業生の印象などに反映させる方式をとっている。
したがって、分析・報告にあたっては下図表の母数357社で各種クロス集計などを行っている。

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

①学部卒業者

	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答
①学部卒業者 全体[357]	37.5	22.1	21.8	5.3	12.3	0.8
建設システム工学科[28]	32.1	14.3	25.0	7.1	21.4	—
機械システム工学科[58]	31.0	27.6	20.7	5.2	13.8	1.7
情報工学科[16]	25.0	25.0	25.0	6.3	18.8	—
電気電子工学科[58]	29.3	29.3	20.7	5.2	15.5	—
材料物性工学科[29]	27.6	17.2	37.9	6.9	10.3	—
応用化学科[36]	41.7	16.7	25.0	5.6	11.1	—
建築社会基盤系学科[17]	47.1	5.9	17.6	5.9	17.6	5.9
機械航空創造系学科[44]	40.9	25.0	18.2	6.8	6.8	2.3
応用理化学系学科[23]	52.2	17.4	21.7	4.3	4.3	—
情報電子工学系学科[29]	55.2	20.7	17.2	—	6.9	—
上記以外の学科[19]	47.4	26.3	10.5	5.3	10.5	—

⑥回答企業の県別分布



2. 調査結果の要約

- 回答企業の所在地を都道府県別で見ると、東京都(32.9%:55社)が最も多く、次いで北海道(31.1%:52社)、愛知県(8.4%:14社)、神奈川県(4.2%:7社)、大阪府(3.0%:5社)となっている。他府県は5社未満である。(回答企業住所より)
- 卒業者が企業等の人材ニーズや期待に「十分応えている」59.7%、「どちらかといえば応えている」35.6%を加えた肯定的回答の合計は全体として95.2%となっている。(問I-1)
- 卒業者の能力や意識の水準について、「全体として高いと感じる」「どちらかといえば高いと感じる」との肯定的回答は91.9%。前回比較で見ると、「全体として高いと感じる」割合が増加し、「どちらかといえば高いと感じる」割合が微減している。(問I-2)
- 本学の就職支援活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」との肯定的回答は78.2%。<これまでの調査との比較>で見ると「全体として熱心だと感じる」割合が大幅に増加し、「あまり熱心だとは感じない」割合が大幅に減少している。(問I-3)
- 本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は86.3%。「今後も積極的に求人・採用していきたい」割合が過去調査と比較して最も高くなっている。(問I-4)
- 本学卒業者の採用理由については、「過去の卒業生の実績が認められるから」の割合が68.9%で最も高く、次いで「国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから」で62.5%となっている。(問I-5)
- 回答企業の本学学科卒業者の採用人数については、これまでの調査年度全てにおいて5人以上採用している企業が過半数を占めている。(問I-6)
- 学科卒業者の職種に関して、平成27年度調査で技術職が91.6%、次いで総合職が23.2%、研究職が17.4%となっている。(問I-7①)
- 大学院修士課程修了者の職種については、平成27年度調査で技術職が90.1%、総合職が24.8%、研究職が24.3%となっている。(問I-7②)

- 本学学科卒業者の意識や身につけている能力についての感想で、「思う」「やや思う」を合わせた肯定的意見の割合が高い項目は、「仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業者が多い」(97.7%)、「基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけている卒業者が多い」(94.0%)、「卒業生それぞれが多様な能力を持っていると感じる」(90.5%)などが挙げられる。
一方、印象度の低いものは、「国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業者が多い」(13.3%)、「国際感覚を身につけた卒業者が多い」(17.3%)などである。(問Ⅱ-1)

- 本学の学生への教育活動についての感想で、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は92.4%。
<これまでの調査との比較>でみると、「どちらかといえば熱心だと感じる」割合は過去調査とほぼ同程度となっているが、積極的な肯定意見である「全体として熱心だと感じる」割合は、平成24年度(27.8%)と比べて16.2%増加しており、「何ともいえない、わからない」という回答割合は減少している。(問Ⅱ-2)

- 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点(自由回答)については、本学の教育面での感想や要望が数多く寄せられた。(問Ⅱ-3)

- 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答)については、意見・要望よりも卒業生の活躍や今後の人材輩出に対する期待などが多くを占めており、本学と回答企業との深い関係性や信頼感が感じられた。一方、本学のみに対してではないが、企業が求めているコミュニケーション能力向上やストレス耐性強化への希望記述が複数あった。(問Ⅱ-4)

以上

3. 調査集計結果

I-1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度

本学卒業生が企業等の人材ニーズや期待にできていると思うかとの設問である。

「十分できている」59.7%、「どちらかといえばできている」35.6%を合わせた肯定的回答の合計は全体として95.2%となっている。母数が少ないので分析は難しいところだが、学科別の差異も認識される。〈これまでの調査との比較〉でみると、積極的な選択肢である「十分できている」が平成19年度の61.7%に次いで高い数値となっている。

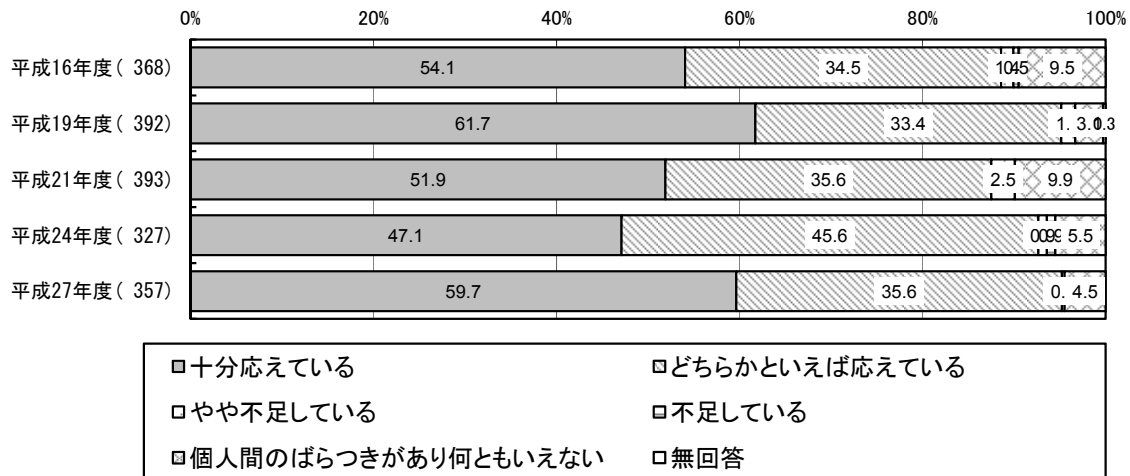
I-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にできていると思われませんか<0403>

	十分できている	どちらかといえばできている	やや不足している	不足している	個人間のばらつきがあり何ともいえない	無回答	肯定的意見
①学部卒業生 全体[357]	59.7	35.6	0.3	—	4.5	—	95.2
建設システム工学科[28]	53.6	46.4	—	—	—	—	100.0
機械システム工学科[58]	62.1	34.5	—	—	3.4	—	96.6
情報工学科[16]	50.0	43.8	—	—	6.3	—	93.8
電気電子工学科[58]	69.0	25.9	—	—	5.2	—	94.8
材料物性工学科[29]	48.3	41.4	—	—	10.3	—	89.7
応用化学科[36]	50.0	41.7	—	—	8.3	—	91.7
建築社会基盤系学科[17]	58.8	41.2	—	—	—	—	100.0
機械航空創造系学科[44]	70.5	25.0	—	—	4.5	—	95.5
応用理化学系学科[23]	69.6	26.1	—	—	4.3	—	95.7
情報電子工学系学科[29]	58.6	37.9	3.4	—	—	—	96.6
上記以外の学科[19]	42.1	52.6	—	—	5.3	—	94.7

※上図表右端の「肯定的意見」は、本設問であれば回答の「十分できている」「どちらかといえばできている」の数値を合計して、小数点第2位を四捨五入して表示しています。そのため、「肯定的意見」列に表示された数値が図表上に表示された数値の合計と合致しない場合がありますのでご了承ください。

〈これまでの調査との比較〉

I-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にできていると思われませんか<0403>



I-2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識

卒業者の能力や意識の水準について、「全体として高いと感じる」「どちらかといえば高いと感じる」との肯定的回答は91.9%。

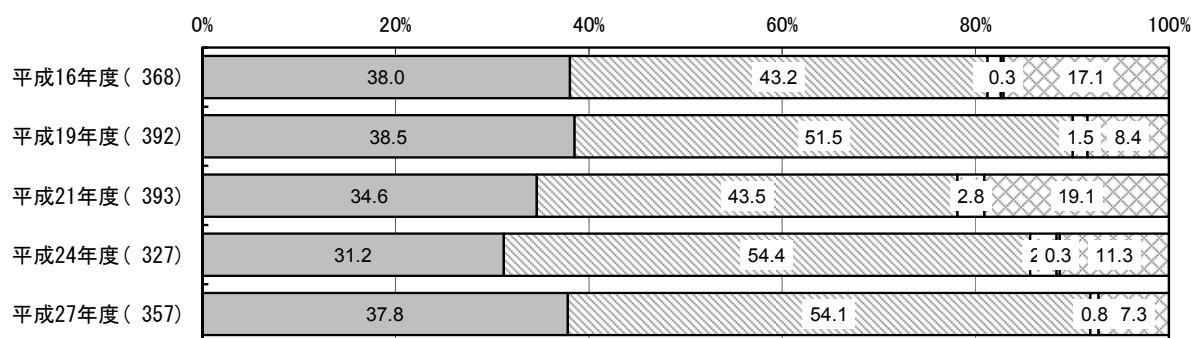
<これまでの調査との比較>の「全体として高いと感じる」「どちらかといえば高いと感じる」との肯定的回答の比較でみると、これまでの調査で最も高い数値となっている。

I-2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか<0405>

	全体として高いと感じる	どちらかといえば高いと感じる	どちらかというやや低いと感じる	低いと感じる	個人間のばらつきがあり何ともいえない	無回答	肯定的意見
①学部卒業生 全体[357]	37.8	54.1	0.8	—	7.3	—	91.9
建設システム工学科[28]	32.1	53.6	3.6	—	10.7	—	85.7
機械システム工学科[58]	43.1	51.7	—	—	5.2	—	94.8
情報工学科[16]	37.5	50.0	—	—	12.5	—	87.5
電気電子工学科[58]	39.7	55.2	—	—	5.2	—	94.8
材料物性工学科[29]	20.7	65.5	—	—	13.8	—	86.2
応用化学科[36]	33.3	61.1	—	—	5.6	—	94.4
建築社会基盤系学科[17]	47.1	52.9	—	—	—	—	100.0
機械航空創造系学科[44]	36.4	56.8	—	—	6.8	—	93.2
応用理化学系学科[23]	56.5	34.8	4.3	—	4.3	—	91.3
情報電子工学系学科[29]	34.5	55.2	3.4	—	6.9	—	89.7
上記以外の学科[19]	36.8	47.4	—	—	15.8	—	84.2

<これまでの調査との比較>

I-2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか<0405>



- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 全体として高いと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば高いと感じる |
| <input type="checkbox"/> どちらかというやや低いと感じる | <input type="checkbox"/> 低いと感じる |
| <input type="checkbox"/> 個人間のばらつきがあり何ともいえない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

I-3. 本学の就職支援活動についての印象

本学の就職支援活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」との肯定的回答は78.2%。

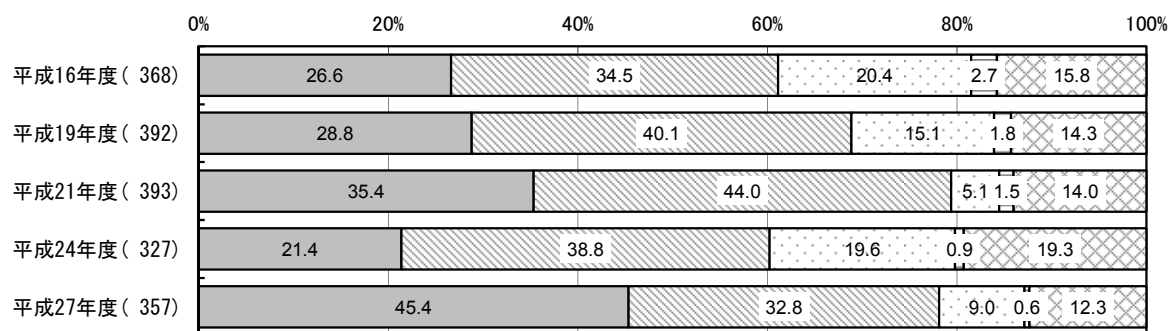
<これまでの調査との比較>でみると「全体として熱心だと感じる」割合が大幅に増加し、「あまり熱心だとは感じない」割合が大幅に減少している。

I-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心だとは感じない	熱心であると感じる	何ともいえない、わからない	無回答	肯定的意見
①学部卒業生 全体 [357]	45.4	32.8	9.0	0.6	12.3	—	78.2
建設システム工学科 [28]	42.9	32.1	7.1	—	17.9	—	75.0
機械システム工学科 [58]	55.2	31.0	6.9	—	6.9	—	86.2
情報工学科 [16]	50.0	31.3	18.8	—	—	—	81.3
電気電子工学科 [58]	50.0	31.0	6.9	—	12.1	—	81.0
材料物性工学科 [29]	41.4	41.4	6.9	3.4	6.9	—	82.8
応用化学科 [36]	41.7	38.9	13.9	2.8	2.8	—	80.6
建築社会基盤系学科 [17]	52.9	29.4	11.8	—	5.9	—	82.4
機械航空創造系学科 [44]	47.7	31.8	4.5	—	15.9	—	79.5
応用理化学系学科 [23]	39.1	43.5	8.7	—	8.7	—	82.6
情報電子工学系学科 [29]	27.6	17.2	13.8	—	41.4	—	44.8
上記以外の学科 [19]	36.8	36.8	10.5	—	15.8	—	73.7

<これまでの調査との比較>

I-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか



- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 全体として熱心だと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば熱心だと感じる |
| <input type="checkbox"/> あまり熱心だとは感じない | <input type="checkbox"/> 熱心であると感じる |
| <input type="checkbox"/> 何ともいえない、わからない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

I-4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲

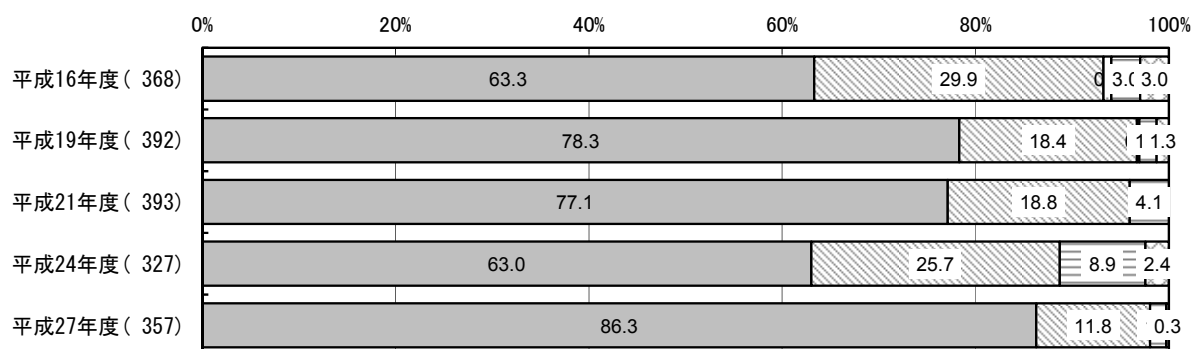
本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は 86.3%。
 <これまでの調査との比較>でみると、「今後も積極的に求人・採用していきたい」割合が過去調査と比較して最も高くなっている。

I-4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか<0404>

	今後も積極的に求人・採用していきたい	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	求人・採用をしていく予定はない	採用は個人本位であり、何ともいえない	その他	無回答
①学部卒業者 全体[357]	86.3	11.8	—	1.7	0.3	—
建設システム工学科[28]	92.9	7.1	—	—	—	—
機械システム工学科[58]	87.9	10.3	—	—	1.7	—
情報工学科[16]	81.3	18.8	—	—	—	—
電気電子工学科[58]	89.7	10.3	—	—	—	—
材料物性工学科[29]	86.2	13.8	—	—	—	—
応用化学科[36]	83.3	11.1	—	5.6	—	—
建築社会基盤系学科[17]	88.2	5.9	—	5.9	—	—
機械航空創造系学科[44]	88.6	11.4	—	—	—	—
応用理化学系学科[23]	82.6	13.0	—	4.3	—	—
情報電子工学系学科[29]	72.4	24.1	—	3.4	—	—
上記以外の学科[19]	89.5	5.3	—	5.3	—	—

<これまでの調査との比較>

I-4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか<0404>



- 今後も積極的に求人・採用していきたい
- 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
- 求人・採用をしていく予定はない
- 採用は個人本位であり、何ともいえない
- その他
- 無回答

I-5. 本学卒業生の採用理由

本学卒業生の採用理由については、「過去の卒業生の実績が認められるから」の割合が68.9%で最も高く、次いで「国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから」で62.5%となっている。

〈これまでの調査との比較〉については、平成16～24年度の平均と今回調査で比較した。

「専門分野が当社に合致しているから」、「基礎学力があり、伸びる人材である点」、「コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから」の3項目について、過去調査の平均から約1割高い結果となっている。

I-5. これまで本学の卒業生を採用いただいた理由は何ですか(複数回答)

	教員からの紹介・推薦	過去の卒業生の実績が認められるから	国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから	専門分野が当社に合致しているから	基礎学力があり、伸びる人材である点	コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから	職者が少ないなど当社の風土に合致する人材が多いと感じるから	その他	無回答
①学部卒業生 全体[357]	53.5	68.9	62.5	51.5	54.1	32.2	12.3	0.8	—
建設システム工学科[28]	67.9	78.6	67.9	75.0	46.4	28.6	14.3	—	—
機械システム工学科[58]	58.6	72.4	65.5	50.0	55.2	34.5	12.1	—	—
情報工学科[16]	43.8	56.3	56.3	56.3	62.5	37.5	—	—	—
電気電子工学科[58]	53.4	72.4	67.2	53.4	50.0	31.0	12.1	—	—
材料物性工学科[29]	58.6	79.3	65.5	34.5	48.3	34.5	17.2	—	—
応用化学科[36]	55.6	72.2	58.3	41.7	47.2	33.3	13.9	—	—
建築社会基盤系学科[17]	52.9	58.8	58.8	58.8	58.8	41.2	11.8	5.9	—
機械航空創造系学科[44]	56.8	61.4	63.6	52.3	56.8	29.5	20.5	2.3	—
応用理化学系学科[23]	43.5	60.9	60.9	47.8	60.9	34.8	4.3	4.3	—
情報電子工学系学科[29]	24.1	55.2	48.3	51.7	62.1	37.9	10.3	—	—
上記以外の学科[19]	63.2	78.9	63.2	52.6	57.9	10.5	5.3	—	—

〈これまでの調査との比較〉

I-5. これまで本学の卒業生を採用いただいた理由は何ですか(複数回答)

	教員からの紹介・推薦	過去の卒業生の実績が認められるから	国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから	専門分野が当社に合致しているから	基礎学力があり、伸びる人材である点	コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから	退職者が少ないなど当社の風土に合致する人材が多いと感じるから	その他	無回答
平成16年度(368)	62.0	60.9	53.0	37.8	37.5	13.0	8.4	3.0	1.1
平成19年度(392)	61.7	65.6	62.2	44.6	52.0	26.0	14.3	3.1	0.8
平成21年度(393)	64.6	69.2	56.2	48.1	48.3	20.4	16.5	6.1	—
平成24年度(327)	45.6	58.4	54.1	37.9	40.7	24.5	9.8	2.1	1.8
平成27年度(357)	53.5	68.9	62.5	51.5	54.1	32.2	12.3	0.8	—
平成16～24年度の平均	58.5	63.5	56.4	42.1	44.6	21.0	12.3		
上記平均と平成27年度の差異	-5.0	5.4	6.1	9.4	9.4	11.2	0.1		

I-6. 本学卒業者の採用状況

回答企業の本学学科卒業生①学部卒業生の採用人数については、これまでの調査年度全
てにおいて5人以上採用している企業が過半数を占めている。

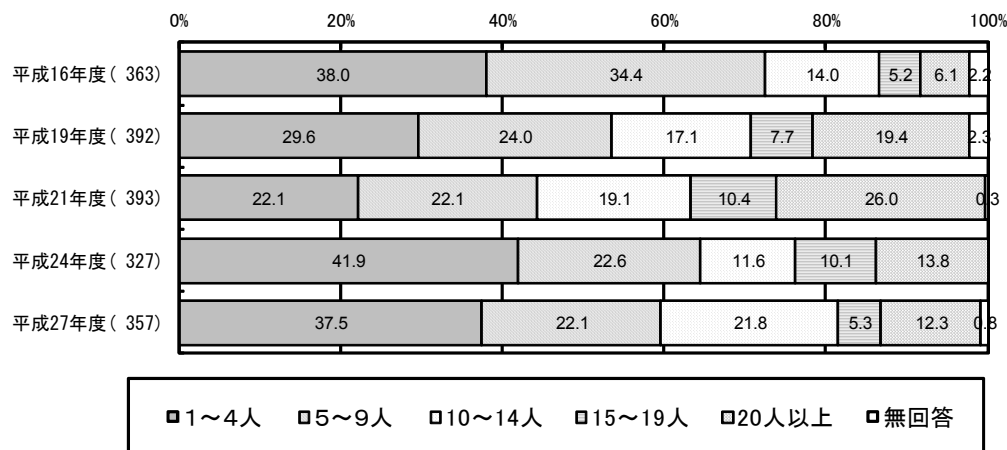
②大学院博士前期(修士)課程修了者について、5人以上採用している企業は調査年度に
より幅が出ている。③大学院博士後期課程修了者は、当然ながら採用人数は少なくなっている。

I-6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

①学部卒業生

	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答	5人以上
平成16年度(363)	38.0	34.4	14.0	5.2	6.1	2.2	59.8
平成19年度(392)	29.6	24.0	17.1	7.7	19.4	2.3	68.1
平成21年度(393)	22.1	22.1	19.1	10.4	26.0	0.3	77.6
平成24年度(327)	41.9	22.6	11.6	10.1	13.8	—	58.1
平成27年度(357)	37.5	22.1	21.8	5.3	12.3	0.8	61.6

①学部卒業生



<これまでの調査との比較>

I-6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の出身学科等について

①学部卒業生(複数回答)

	建設システム工学科	機械システム工学科	情報工学科	電気電子工学科	材料物性工学科	応用化学科
平成16年度(363)	14.0	20.7	15.7	19.6	15.4	14.6
平成19年度(392)	13.0	22.2	14.0	21.7	16.1	13.0
平成21年度(393)	11.2	25.2	13.2	20.6	15.5	14.2
平成24年度(327)	13.5	17.1	13.1	19.0	13.1	13.1
平成27年度(357)	7.8	16.2	4.5	16.2	8.1	10.1

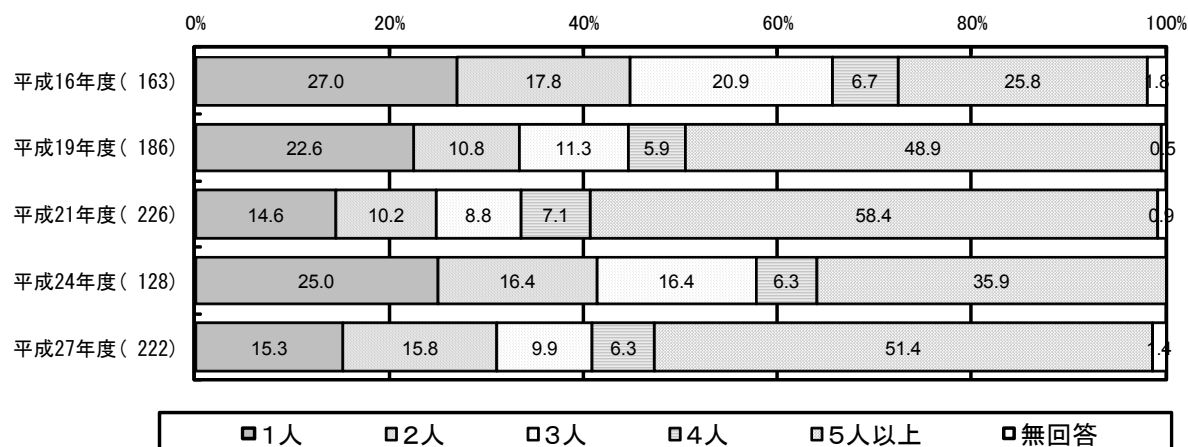
	建築社会基盤系学科	機械航空創造系学科	応用理化学系学科	情報電子工学系学科	上記以外の学科
平成16年度(363)	—	—	—	—	—
平成19年度(392)	—	—	—	—	—
平成21年度(393)	—	—	—	—	—
平成24年度(327)	—	—	—	—	11.0
平成27年度(357)	4.8	12.3	6.4	8.1	5.3

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

②大学院博士前期(修士)課程修了者

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成16年度(163)	27.0	17.8	20.9	6.7	25.8	1.8
平成19年度(186)	22.6	10.8	11.3	5.9	48.9	0.5
平成21年度(226)	14.6	10.2	8.8	7.1	58.4	0.9
平成24年度(128)	25.0	16.4	16.4	6.3	35.9	—
平成27年度(222)	15.3	15.8	9.9	6.3	51.4	1.4

②大学院博士前期(修士)課程修了者



<これまでの調査との比較>

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の出身学科等について

②大学院博士前期(修士)課程修了者(複数回答)

	建設システム工学専攻	機械システム工学専攻	情報工学専攻	電気電子工学専攻	材料物性工学専攻	応用化学専攻	建築社会基盤系専攻
平成16年度(163)	12.9	19.0	14.7	16.6	20.9	16.0	—
平成19年度(186)	12.9	19.9	17.2	18.3	16.7	15.1	—
平成21年度(226)	12.8	22.6	11.9	17.7	17.7	17.3	—
平成24年度(128)	12.5	14.8	21.1	13.3	9.4	14.8	—
平成27年度(222)	7.2	15.8	4.5	9.9	8.1	6.3	4.5

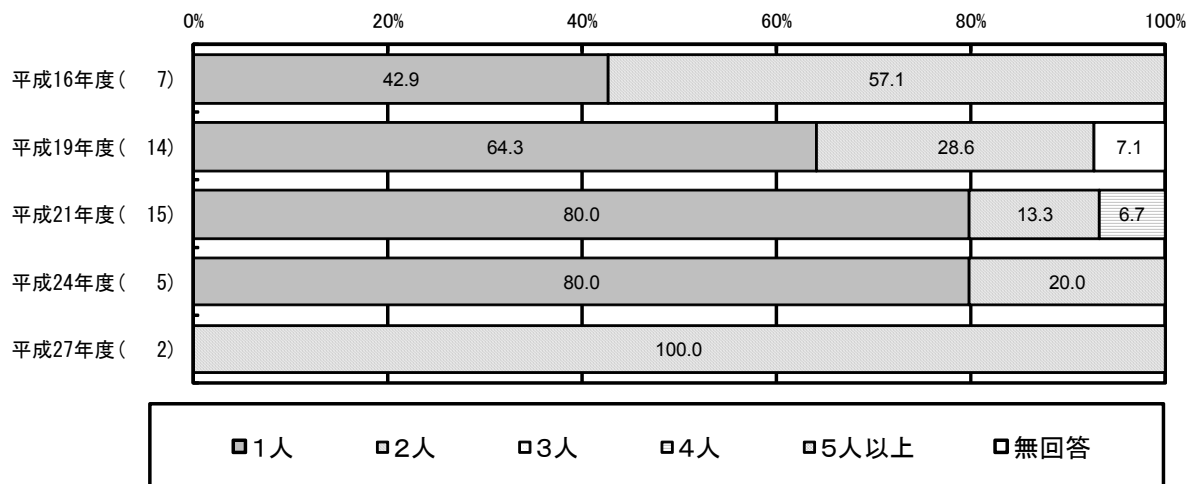
	機械創造工学系専攻	応用理化学系専攻	情報電子工学系専攻	航空宇宙システム工学専攻	公共システム工学専攻	数理システム工学専攻	上記以外の専攻
平成16年度(163)	—	—	—	—	—	—	—
平成19年度(186)	—	—	—	—	—	—	—
平成21年度(226)	—	—	—	—	—	—	—
平成24年度(128)	—	—	—	—	—	—	14.1
平成27年度(222)	11.3	10.8	9.5	6.8	0.9	—	4.5

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

③大学院博士後期課程修了者

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成16年度(7)	42.9	57.1	—	—	—	—
平成19年度(14)	64.3	28.6	—	—	—	7.1
平成21年度(15)	80.0	13.3	—	6.7	—	—
平成24年度(5)	80.0	20.0	—	—	—	—
平成27年度(2)	—	100.0	—	—	—	—

③大学院博士後期課程修了者



<これまでの調査との比較>

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の出身学科等について

③大学院博士後期課程修了者(複数回答)

	建設工学 専攻	生産情報 システム 工学専攻	物質工学 専攻	創成機能 科学専攻	建設環境 工学専攻	航空宇宙 システム 工学専攻
平成16年度(7)	57.1	28.6	14.3	—	—	—
平成19年度(14)	57.1	28.6	7.1	7.1	—	—
平成21年度(15)	40.0	46.7	6.7	6.7	—	—
平成24年度(5)	20.0	40.0	—	40.0	—	—
平成27年度(2)	50.0	50.0	—	—	—	—

I-7. 本学卒業者の職種

学科卒業者に関しては、平成27年度調査で技術職が91.6%、次いで総合職が23.2%、研究職が17.4%となっている。

大学院修士課程修了者については、平成27年度調査で技術職が90.1%、総合職が24.8%、研究職が24.3%となっている。

<これまでの調査との比較>

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか

①学部卒業者

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
平成16年度(363)	16.3	90.9	1.4	19.0	14.3	1.7	—
平成19年度(392)	16.8	91.1	4.8	20.2	21.7	3.6	50.0
平成21年度(393)	20.1	91.1	9.4	20.1	16.0	6.9	50.0
平成24年度(327)	15.0	84.1	7.3	13.1	19.9	0.6	50.0
平成27年度(357)	12.3	91.6	6.4	17.4	23.2	3.1	0.3

②大学院博士前期(修士)課程修了者

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
平成16年度(163)	5.5	85.9	0.6	31.9	8.0	0.6	1.2
平成19年度(186)	7.5	84.4	4.3	29.6	24.2	5.4	2.7
平成21年度(226)	8.4	88.9	0.4	32.3	19.5	2.7	0.9
平成24年度(128)	8.6	85.9	8.6	14.1	24.2	0.8	1.6
平成27年度(222)	3.6	90.1	4.1	24.3	24.8	1.4	2.3

③大学院博士後期課程修了者

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
平成16年度(7)	—	71.4	—	71.4	42.9	—	—
平成19年度(14)	14.3	71.4	—	14.3	14.3	—	14.3
平成21年度(15)	—	60.0	6.7	13.3	26.7	—	6.7
平成24年度(5)	—	100.0	—	—	—	—	—
平成27年度(2)	—	—	—	100.0	100.0	—	—

Ⅱ-1. 本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

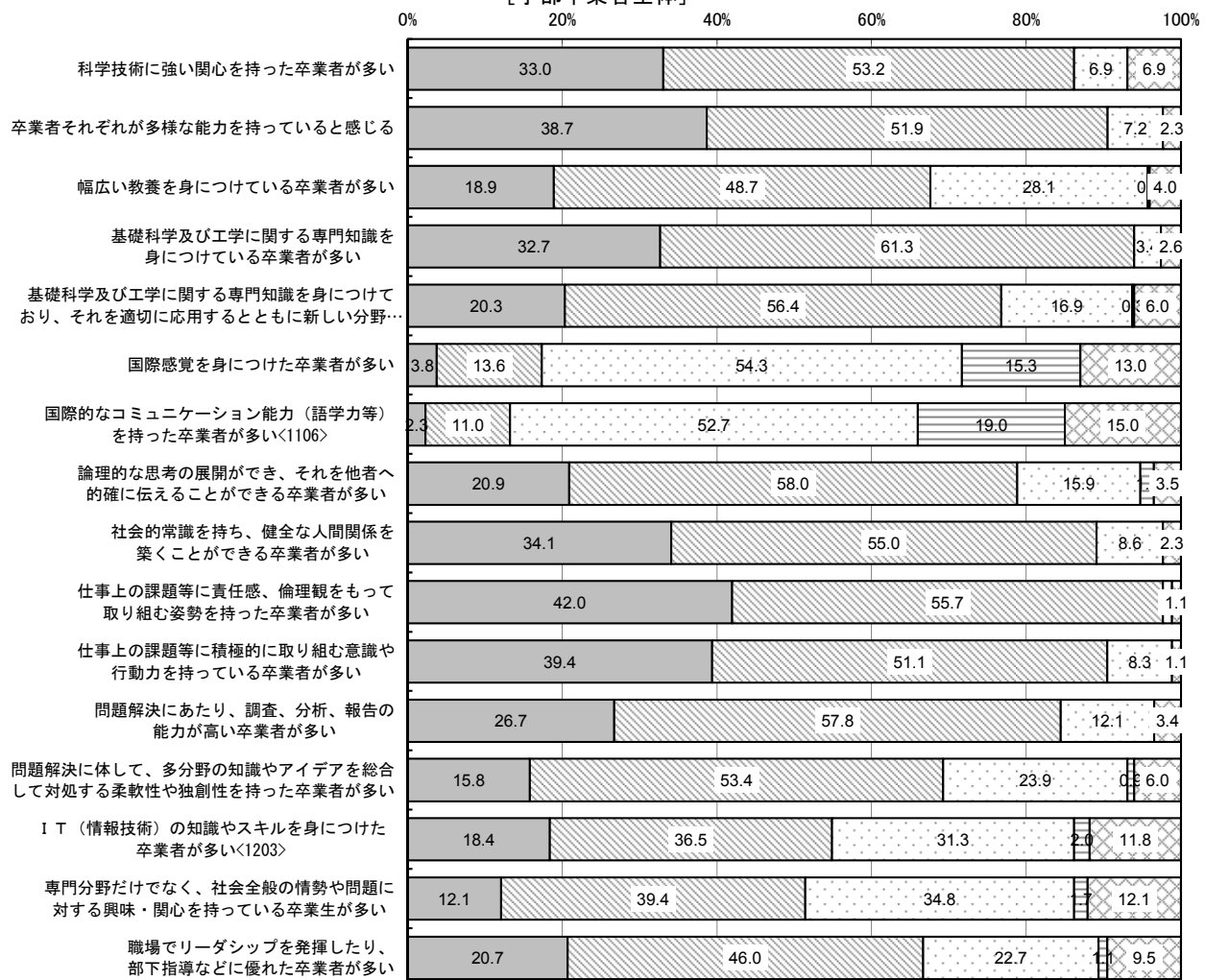
学科卒業生全体で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的意見の割合が高い項目は、「仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業生が多い」(97.7%)、「基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけている卒業生が多い」(94.0%)、「卒業生それぞれが多様な能力を持っていると感じる」(90.5%)などが挙げられる。

一方、印象度の低いものは、「国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業生が多い」(13.3%)、「国際感覚を身につけた卒業生が多い」(17.3%)などが挙げられるが、前回調査時(平成24年度)と比較して肯定的割合が増加している。

本調査は平成16年度以降3年ごとに実施しており今回で5回目であるが、次ページの結果にみるように、全体としての肯定的割合は前回調査までと比較して増加傾向にある。

なお、唯一「IT(情報技術)の知識やスキルを身につけた卒業生が多い」については、調査開始以来、低下傾向(平成16年度:74.5%⇒平成27年度:54.9%)にあることも付記しておく。

Ⅱ-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想
[学部卒業生全体]



□そう思う □やや思う □あまり思わない □そう思わない □わからない

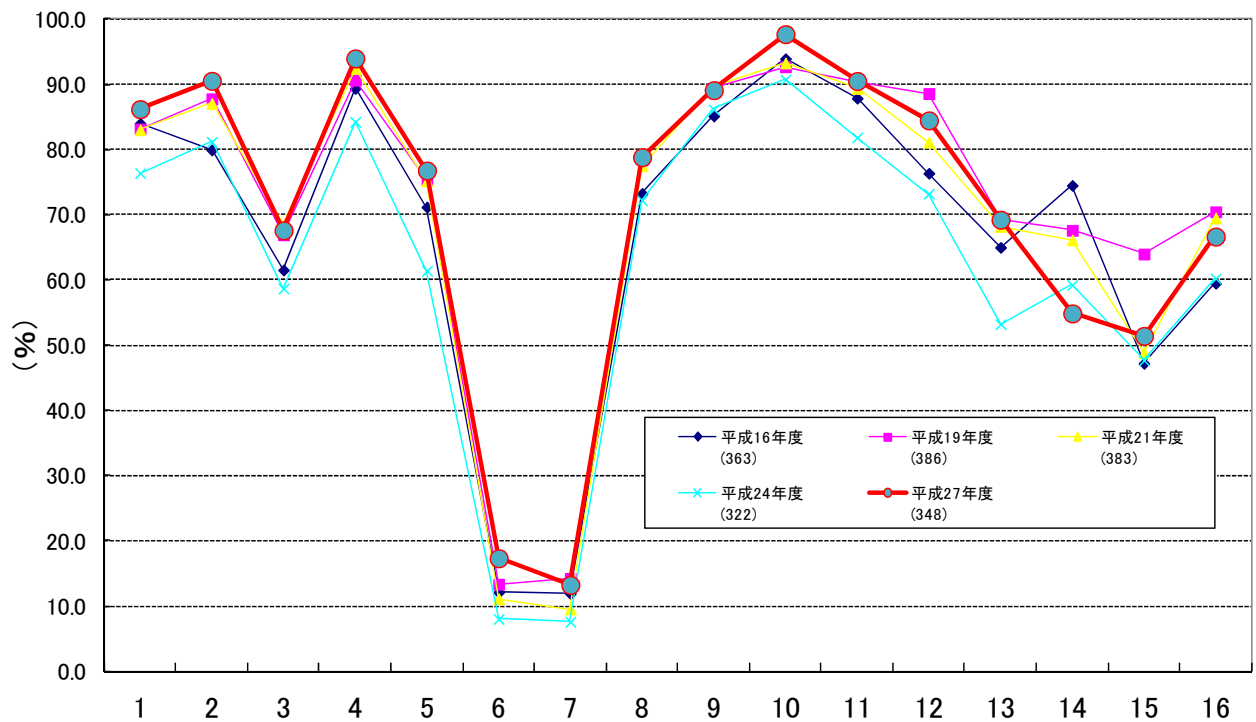
II-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想 (1/2)

①学科卒業者 全体		そう思う	やや思う	あまり思 わない	そう思わ ない	わからな い	肯定的 意見
科学技術に強い関心を持った 卒業者が多い	平成16年度(363)	33.1	51.0	9.1	1.4	5.5	84.0
	平成19年度(386)	29.0	54.1	11.4	1.0	4.4	83.2
	平成21年度(383)	24.0	59.0	7.3	1.3	8.4	83.0
	平成24年度(322)	19.9	56.5	13.0	1.2	9.3	76.4
	平成27年度(348)	33.0	53.2	6.9	—	6.9	86.2
卒業生それぞれが多様な能力 を持っていると感じる	平成16年度(364)	25.0	54.9	15.9	1.6	2.5	79.9
	平成19年度(385)	28.3	59.5	9.1	0.3	2.9	87.8
	平成21年度(387)	24.5	62.5	9.0	—	3.9	87.1
	平成24年度(324)	24.1	57.1	12.7	1.5	4.6	81.2
	平成27年度(349)	38.7	51.9	7.2	—	2.3	90.5
幅広い教養を身につけている 卒業者が多い	平成16年度(364)	9.1	52.5	29.9	3.0	5.5	61.5
	平成19年度(384)	14.3	52.6	28.1	0.5	4.4	66.9
	平成21年度(384)	9.4	59.1	22.4	2.1	7.0	68.5
	平成24年度(322)	9.3	49.4	30.4	3.7	7.1	58.7
	平成27年度(349)	18.9	48.7	28.1	0.3	4.0	67.6
基礎科学及び工学に関する専 門知識を身につけている卒業 者が多い	平成16年度(358)	34.6	54.7	7.3	0.8	2.5	89.4
	平成19年度(385)	37.4	53.2	6.5	0.5	2.3	90.6
	平成21年度(384)	34.4	58.1	3.9	—	3.6	92.4
	平成24年度(324)	32.4	51.9	5.9	2.2	7.7	84.3
	平成27年度(349)	32.7	61.3	3.4	—	2.6	94.0
基礎科学及び工学に関する専 門知識を身につけており、それ を適切に応用するとともに新 しい分野に積極的に対応でき る創造的な卒業者が多い	平成16年度(361)	18.3	52.9	18.8	3.3	6.6	71.2
	平成19年度(386)	17.1	58.3	18.7	1.6	4.4	75.4
	平成21年度(383)	13.8	61.4	11.5	0.5	12.8	75.2
	平成24年度(324)	14.8	46.6	26.2	2.5	9.9	61.4
	平成27年度(349)	20.3	56.4	16.9	0.3	6.0	76.8
国際感覚を身につけた卒業生 が多い	平成16年度(363)	—	12.1	51.2	15.4	21.2	12.1
	平成19年度(382)	0.8	12.6	61.3	12.6	12.8	13.4
	平成21年度(387)	0.8	10.3	50.4	21.4	17.1	11.1
	平成24年度(324)	1.2	6.8	53.4	17.6	21.0	8.0
	平成27年度(346)	3.8	13.6	54.3	15.3	13.0	17.3
国際的なコミュニケーション 能力(語学力等)を持った卒業 者が多い<1106>	平成16年度(361)	—	11.9	49.0	20.8	18.3	11.9
	平成19年度(386)	0.5	13.7	49.2	25.4	11.1	14.2
	平成21年度(387)	0.5	9.0	54.8	24.8	10.9	9.6
	平成24年度(316)	—	7.6	46.5	24.4	21.5	7.6
	平成27年度(347)	2.3	11.0	52.7	19.0	15.0	13.3
論理的な思考の展開ができ、それ を他者への確に伝えること ができる卒業者が多い	平成16年度(363)	18.5	54.8	20.7	1.4	4.7	73.3
	平成19年度(386)	16.1	62.4	15.0	1.3	5.2	78.5
	平成21年度(387)	12.4	65.1	16.8	0.3	5.4	77.5
	平成24年度(324)	14.5	57.7	17.6	1.5	8.6	72.2
	平成27年度(345)	20.9	58.0	15.9	1.7	3.5	78.8

Ⅱ－１．教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想（2/2）

①学科卒業者 全体		そう思う	やや思う	あまり思 わない	そう思わ ない	わからな い	肯定的 意見
社会的常識を持ち、健全な人間 関係を築くことができる卒業 者が多い	平成16年度（364）	22.0	63.2	10.4	0.3	4.1	85.2
	平成19年度（386）	33.4	56.0	8.0	0.3	2.3	89.4
	平成21年度（387）	25.3	64.3	5.2	0.5	4.7	89.7
	平成24年度（325）	24.9	61.2	7.4	3.1	3.4	86.2
	平成27年度（349）	34.1	55.0	8.6	—	2.3	89.1
仕事上の課題等に責任感、倫理 観をもって取り組む姿勢を 持った卒業者が多い	平成16年度（363）	35.0	59.0	3.6	0.3	2.2	93.9
	平成19年度（384）	43.0	49.7	4.2	0.8	2.3	92.7
	平成21年度（387）	38.8	54.5	1.6	—	5.2	93.3
	平成24年度（324）	27.8	63.0	4.6	1.2	3.4	90.7
	平成27年度（348）	42.0	55.7	1.1	—	1.1	97.7
仕事上の課題等に積極的に取 り組む意識や行動力を持って いる卒業者が多い	平成16年度（363）	33.3	54.5	8.3	0.6	3.3	87.9
	平成19年度（386）	37.8	52.6	6.7	0.3	2.6	90.4
	平成21年度（386）	33.7	55.7	3.9	0.5	6.2	89.4
	平成24年度（325）	26.5	55.4	13.5	0.6	4.0	81.8
	平成27年度（348）	39.4	51.1	8.3	—	1.1	90.5
問題解決にあたり、調査、分析、 報告の能力が高い卒業者が多 い	平成16年度（364）	20.9	55.5	18.7	0.3	4.7	76.4
	平成19年度（386）	22.0	66.6	8.0	0.3	3.1	88.6
	平成21年度（387）	20.7	60.5	10.6	0.3	8.0	81.1
	平成24年度（325）	14.8	58.5	15.4	1.5	9.8	73.2
	平成27年度（348）	26.7	57.8	12.1	—	3.4	84.5
問題解決に体して、多分野の知 識やアイデアを総合して対処 する柔軟性や独創性を持った 卒業者が多い	平成16年度（363）	16.3	48.8	25.3	1.9	7.7	65.0
	平成19年度（386）	17.6	51.6	24.9	0.3	5.7	69.2
	平成21年度（387）	12.1	56.1	16.8	2.3	12.7	68.2
	平成24年度（325）	8.6	44.6	31.1	3.4	12.3	53.2
	平成27年度（348）	15.8	53.4	23.9	0.9	6.0	69.3
I T（情報技術）の知識やス キルを身につけた卒業者が多 い<1203>	平成16年度（361）	15.5	59.0	17.2	1.7	6.6	74.5
	平成19年度（386）	22.3	45.3	26.2	1.3	4.9	67.6
	平成21年度（387）	18.6	47.5	19.1	—	14.7	66.1
	平成24年度（324）	17.9	41.4	26.9	1.9	12.0	59.3
	平成27年度（348）	18.4	36.5	31.3	2.0	11.8	54.9
専門分野だけでなく、社会全般 の情勢や問題に対する興味・ 関心を持っている卒業生が多 い	平成16年度（360）	6.7	40.6	35.8	2.5	14.4	47.2
	平成19年度（386）	8.0	56.0	28.0	2.8	5.2	64.0
	平成21年度（387）	7.0	41.9	30.7	3.9	16.5	48.8
	平成24年度（325）	7.1	40.6	35.1	3.7	13.5	47.7
	平成27年度（348）	12.1	39.4	34.8	1.7	12.1	51.4
職場でリーダーシップを發揮し たり、部下指導などに優れた卒 業者が多い	平成16年度（363）	16.5	43.0	31.7	2.2	6.6	59.5
	平成19年度（386）	17.1	53.4	22.3	1.6	5.7	70.5
	平成21年度（387）	13.2	56.3	20.9	1.8	7.8	69.5
	平成24年度（322）	10.6	49.7	24.8	1.9	13.0	60.2
	平成27年度（348）	20.7	46.0	22.7	1.1	9.5	66.7

II-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想
(過去調査比較)



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	科学技術に強い関心を持った卒業者が多い	卒業生それぞれが多様な能力を持っていると感じ	幅広い教養を身につけている卒業者が多い	基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけている卒業者が多い	基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけており、それに対応できる創造的な卒業生が多い	国際感覚を身につけた卒業生が多い	国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業生が多い	論理的な思考の展開ができ、それを他者への確に伝えることができる卒業生が多い	社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業生が多い	仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業生が多い	仕事上の課題等に積極的に取り組む意識や行動力を持っている卒業生が多い	問題解決にあたり、調査、分析、報告の能力が高い卒業生が多い	問題解決に体して、多分野の知識やアイデアを総合して対処する柔軟性や独創性を持った卒業生が多い	IT(情報技術)の知識やスキルを身につけた卒業生が多い	専門分野だけでなく、社会全般の情勢や問題に対する興味・関心を持っている卒業生が多い	職場でリーダーシップを発揮したり、部下指導などに優れた卒業生が多い
()内は回答企業数																
平成16年度 (363)	84.0	79.9	61.5	89.4	71.2	12.1	11.9	73.3	85.2	93.9	87.9	76.4	65.0	74.5	47.2	59.5
平成19年度 (386)	83.2	87.8	66.9	90.6	75.4	13.4	14.2	78.5	89.4	92.7	90.4	88.6	69.2	67.6	64.0	70.5
平成21年度 (383)	83.0	87.1	68.5	92.4	75.2	11.1	9.6	77.5	89.7	93.3	89.4	81.1	68.2	66.1	48.8	69.5
平成24年度 (322)	76.4	81.2	58.7	84.3	61.4	8.0	7.6	72.2	86.2	90.7	81.8	73.2	53.2	59.3	47.7	60.2
平成27年度 (348)	86.2	90.5	67.6	94.0	76.8	17.3	13.3	78.8	89.1	97.7	90.5	84.5	69.3	54.9	51.4	66.7

II-2. 本学の学生への教育活動についての感想

本学の学生への教育活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は92.4%。

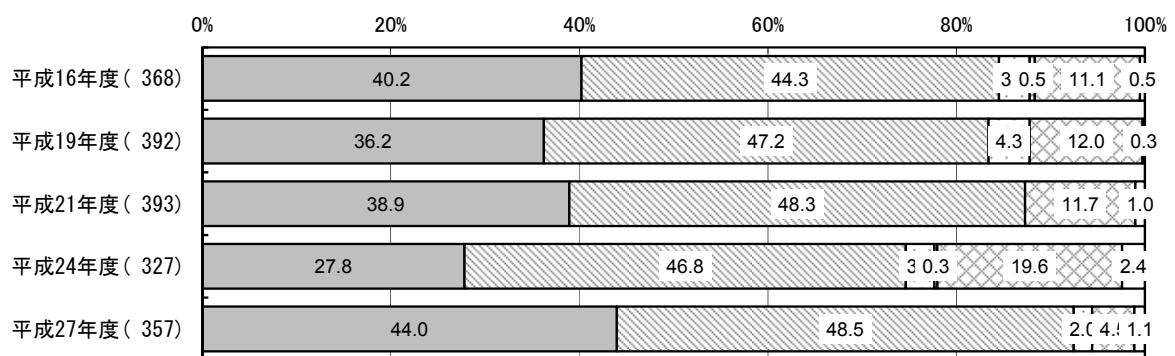
＜これまでの調査との比較＞でみると、「どちらかといえば熱心だと感じる」割合は過去調査とほぼ同程度となっているが、積極的な肯定意見である「全体として熱心だと感じる」割合は、平成24年度(27.8%)と比べて16.2%増加しており、「何ともいえない、わからない」という回答割合は減少している。

II-2. 卒業者からの印象やあなたがご存知の範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか<0412>

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心とは感じない	熱心であると感じない	何ともいえない、わからない	無回答	肯定的意見
①学部卒業者 全体[357]	44.0	48.5	2.0	—	4.5	1.1	92.4
建設システム工学科[28]	39.3	53.6	3.6	—	3.6	—	92.9
機械システム工学科[58]	51.7	41.4	3.4	—	1.7	1.7	93.1
情報工学科[16]	31.3	62.5	—	—	6.3	—	93.8
電気電子工学科[58]	44.8	50.0	1.7	—	3.4	—	94.8
材料物性工学科[29]	31.0	62.1	—	—	6.9	—	93.1
応用化学科[36]	33.3	55.6	—	—	8.3	2.8	88.9
建築社会基盤系学科[17]	47.1	41.2	5.9	—	—	5.9	88.2
機械航空創造系学科[44]	50.0	43.2	2.3	—	2.3	2.3	93.2
応用理化学系学科[23]	60.9	30.4	—	—	8.7	—	91.3
情報電子工学系学科[29]	34.5	55.2	—	—	10.3	—	89.7
上記以外の学科[19]	52.6	42.1	5.3	—	—	—	94.7

＜これまでの調査との比較＞

II-2. 卒業者からの印象やあなたがご存知の範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか<0412>



- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 全体として熱心だと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば熱心だと感じる |
| <input type="checkbox"/> あまり熱心とは感じない | <input type="checkbox"/> 熱心であると感ない |
| <input type="checkbox"/> 何ともいえない、わからない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

Ⅱ-3. 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点（自由回答）

本学の教育面での感想や要望が数多く寄せられた。便宜的にいくつかの観点から大まかに整理して原文のまま掲載した。

Ⅱ-3 今後、本学に求められる教育面で強化すべきテーマや努力すべき点

◆コミュニケーション能力・積極性・柔軟性

大学では専門的な知識だけでなく、社会人になる為の素養を身に付けるのも大切だと思っています。貴学の学生は大人しく、真面目な学生が多いのですが、コミュニケーションが苦手という学生が多いように感じます。

昨今では特に専門分野だけではなく、社会全般の情勢や問題に対して関心を持ち、創造的で積極的な姿勢を育む教育が求められていると感じます。

問題解決に向けて、グループで討議して、目標を達成する重要性に気付かせる。積極的に話し合う事が重要だと思います。

SE職での募集をしておりますが、技術的な部分では全く問題なく、優秀な学生様が多いと感じております。

コミュニケーションの部分で、比較的大人しい学生様が多い印象を受けますので、快活な学生様と今後多く出会える事を期待しております。

歴代の卒業生を見ると、職務能力やコミュニケーション能力に大きな差があるように思われる。また近年の採用者にもコミュニケーション能力の差があるように感じる為、学科の専門知識だけでなく、一般教養の幅を広げ、会話の糸口や広げる要素を増加させても良いと思う。知識とは自己満足の為でなく、知識量(点)を増やす事により(線)としてつなげる事により、初めて生かされる。その先に社会的貢献や、個人の豊かさ「楽しさや幸福」につながる事を知っておいてほしい。

専門科目等の学習内容は特に問題はないと思われます。現場の声としては「コミュニケーション能力」が求められていますので、その辺を更に強化いただけると幸いです。

コミュニケーションスキル。

コミュニケーション力等、人間的に魅力を感じる人材を育ててほしい。

控えめなタイプが多い。積極性を身に付け、学生時代に学んだ事を現場で活かせるようにしてほしい。

特に大学院の学生に対しては、教員との議論が活発な研究室の方程、よく考え、それを伝える力がきわだっていると感じます。企業では「伝える力」も重要ですので、指導教員と十分議論する機会を持っていただきたいと思ひます。

コミュニケーション能力の向上。

自分自身が考え、感じた意見や疑問をしっかりと伝えられるような学生を特に重要視しておりますので、その部分を更に強化してもらいたひです。

知識を詰め込む教育ではなく、自分で考えるような教育に力を入れてほしい。

コミュニケーション能力の向上。

多少の失敗でも簡単に諦めてしまわないような意志を育てる事が重要だと思います。

英語コミュニケーション能力の強化。

◆語学力・国際感覚

学力については優秀な方が多いですが、やや内向的な方も多く、地元だけでなく、日本全国また海外への感心を持っていただけると、尚良いと感じます。

チームで活動する上での積極性、国際感覚や語学力が高いと、更に魅力的な人財になるのではと感じます。

国際的なコミュニケーション能力(語学力)。

- ①マクロな視点。
- ②語学力の向上。

特にありませんが、英語に関する能力の強化をされるとよろしいかと思います。

グローバルな視点で取り組む姿勢。

一番強く感じるのは語学力の低さです。もっと強化すべきと思われます。

専門教育の充実を更に図ると共に、英語教育も一段と強化していただきたい。

プレゼンテーション能力・語学力(英語)。

TOEICを毎年受験等、全体の英語力引き上げを図ってほしい。

英語力が求められてきますので、そのあたりが充実してくれば更に良いかと存じます。

航空業務がある為、語学力UPを期待します。

企業のグローバル対応に伴い、研究・技術職にも語学力の対応が求められています。英語を始めた外国語教育の強化を望みます。

◆専門知識・専門能力

建築科で言うと、設計製図に費やす時間が多く、建築生産施工に関する部分が少なすぎる感じがします。

データベースの基礎知識に欠けるので、強化するべき。

専門分野における基礎学力が高い学生を希望します。

基礎的な学力に基づいた専門分野のスキルアップと、深掘りを望みます。

貴校の卒業生と弊社の気質は合っていると感じています。機械に興味関心が高く、真面目にコツコツと課題に取り組めるところに共通性がある為だと思います。設問1でいうところの「国際力」や「幅広い教養」が他大学に比べ突出してるとはいえませんが、弊社が貴校の学生に求める能力は「エンジニアとしての素養」であり、そこを更に磨いていただけたらと思います。

情報・通信の分野において、実技のカリキュラムを更に取り入れていただき、人材育成につなげていただければと思います。

これまで通り、工学に関する基礎・専門性について。

◆基礎学力・基礎技術力

基礎学力の向上と職業観の育成を在学中に行ってほしい。

- ①基礎学力の充実。
- ②専門知識。

基礎学力(理学系)及び、英語力の向上。

◆一般常識・社会性の醸成

インターン等の社会経験。大人との接し方。

技術面等、学問的な部分については非常に熱心なご指導をされていると思います。更に社会性を育む活動、異なるバックグラウンドの方との交流等を盛り込む事で、人間力・想像力が養われると感じます(ボランティア活動等)。

1人のみにての判断、誠に申し訳ありませんが、一般常識・礼儀作法等、もう少し必要だと思えます。

◆マネジメント能力

技術者としては個々の能力も高く、技術、スキルを身に付けたいという姿勢があるように感じますが、問題提起をする事や、マネジメントをするのが苦手な社員が多いように感じます。

真面目にコツコツ仕事をするタイプが多い。もう少し自己主張が強いタイプ(リーダーシップ)の育成にも力を入れてほしいです。

◆総合・その他

- ①先進技術:国際学会への積極的な参加。
 - ②自律遂行:前例のない事に取り組む活動。
-

インターンシップ等の活用も含め、学生さんに対する就業の意識付けを早い段階から開始いただければ幸いです。

専門性も重要ですが、応用力を身に付ける事も重視していただきたい(卒業者の評価ではなく、一般的な意見として)。

- ①自身の専門分野に留まらず、幅広く情報を集めるような知識欲を醸成してほしい。
 - ②国外の情報にアクセスできる意識及び基礎知識を養ってほしい。
-

理系出身であるので、特定の分野・業界だけに絞って就職活動をするのではなく、幅広い視野を持って活動されるように指導していただきたいです。

◆印象・感想など

学ばれている分野と当社の採用職種が非常に合致している部分も多いので、引き続き知識を活かせるような教育体制を維持していただければ幸いです。

過去4名の入社があり、内1名が中途退社し、現在3名が在席しています。卒業年次(年齢)も幅広く、個性や能力を平均的に評価するのが難しい項目も多い為、本設間に対する具体的な意見を持つには至りませんでした。

II-4. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答)

本学全般についての意見や要望が数多く寄せられた。便宜的にいくつかの観点から大まかに整理して原文のまま掲載した。

本欄への記載については、意見・要望よりも卒業者の活躍や今後の人材輩出に対する期待などが多くを占めており、本学と回答企業との深い関係性や信頼感が感じられた。

一方、本学のみに対してではないが、企業が求めているコミュニケーション能力向上やストレス耐性強化への希望記述が複数あった。

II-4. その他 本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください

◆就職指導や企業連携への希望

専門分野が合致しているので、学内セミナー(個別会社説明会)を希望します。

中小企業にも積極的に採用の門戸を広げて下さい。

地方企業への就労意欲の動機付けを強く行ってほしい。

学生がより社会とかかわる機会を設けてほしいと思います。

貴学からの採用は2012年度からとるが、若年層が本格的に自分の持ち味を出していくのはこれからであると感じる。現時点、順調に成長しており、将来が楽しみである。2014年度博士採用をしたが、貴学の都合で12.E大学に戻った。事前の連絡もなく、全て決まってから社員からの報告であった。やり方には問題を感じる。本人が継続して貴学で働けるようお願いしたい。

今後も地域に密着した活動・関わりを期待しています。1人でも多くの学生が室蘭市内の企業に関心を持っていただける事を望みます。

◆専門知識を持つ学生の育成

教育目標に掲げられているとおり、より高度な専門知識の習得に加え、多様な価値観・教育を兼ね備えた人材を育む教育を引き続きお願いしたい。

IT業界やWEB・スマホ開発に興味のある学生が増えますと、嬉しく思います。

産業構造や世の中の変化に合わせて、基礎・専門教育や研究分野が柔軟に対応できるような大学になってほしいです。

自動車関連の専門教育をお願い致します。

①今後も素系材に関する学科、教授を減らす事なく、その分野のエキスパートになるべく人材の輩出に寄与してもらいたく思います。

②採用において、今後とも宜しくお願い致します。

◆コミュニケーション・メンタル耐性の強化

一般的に真面目な学生が多い。少々大人しすぎる感じがする。もう少し積極的な学生を望みます。

同上(Ⅱ-3:歴代の卒業生を見ると、職務能力やコミュニケーション能力に大きな差があるように思われる。また近年の採用者にもコミュニケーション能力の差があるように感じる為、学科の専門知識だけでなく、一般教養の幅を広げ、会話の糸口や広げる要素を増加させても良いと思う。知識とは自己満足の為でなく、知識量(点)を増やす事により(線)としてつなげる事により、初めて生かされる。その先に社会的貢献や、個人の豊かさ「楽しさや幸福」につながる事を知っておいてほしい) + 欲を言うなら、一般的道徳心の上に上記3(Ⅱ-3)の内容が生きてきて、以降の世代に良い影響を与える事ができるようになる。

毎年、学生を御推薦いただき、そして採用させていただきまして誠にありがとうございます。今後とも定期的に御学の学生を採用していきたいと考えております。その中で、専門的な知識の取得については全く問題なく、引き続きお願いしたいところであり、今後はコミュニケーション力の更なる向上(養成)をお願いしたいと思います(人前でしっかり話せる力等)。

真面目な学生が多いです。仕事を進める上で、より行動のタフさが養われると良いと思います。

◆感想・期待

今後とも、さまざまな情報交換ができましたらと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。

毎年、学内の合同企業説明会にご参加させていただき、誠にありがとうございます。来年度以降も、積極的に採用活動を行っていく予定でございますので、今後とも宜しくお願い致します。

今後とも、当社を宜しくお願い致します。

日頃より、弊社札幌事業所がお世話になっております。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になっております。昨年度、今年度と貴校より内定者が決まり、今後も引き続き卒業生の方々に入社いただければ幸甚です。

基礎学力が高く、のみこみも早いので、是非今後も積極的に採用させていただきたいです。

今後とも、宜しくお願い致します。

日頃、弊社の採用活動にご協力いただきありがとうございます。引き続き、宜しくお願い申し上げます。

積極的に採用していきたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

遠方になりますが、今後とも宜しくお願い致します。

弊社の採用活動では、道内理系大学の学生が最も重要な対象となっております。今後とも、貴学からの採用を継続できればと考えております。引き続き宜しくお願い申し上げます。

基礎的な能力の高い学生さんが多いと感じています。専攻学科に囚われず、幅広い分野の職業で活躍が可能である事を伝えていただければと思っています。

真面目で、大人しい方が多いと感じています。

残念ながら退職してしまいましたが、今後とも弊社を学生へ紹介していただければ幸いです。宜しくお願い致します。

いつも優秀な学生さんをご紹介いただき、ありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。

弊社には多くのOB・OGがおり、第一線で活躍いただいております。今後とも弊社の採用活動にご理解いただき、ご高配賜れましたら幸いです。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

◆本アンケートに対してのコメント

このようなアンケートを実施し、今後に活かすというのは素晴らしいと思います。

室蘭工業大学
「平成27年度 企業アンケート」
集計結果報告書
平成28年1月
編著：一般社団法人日本能率協会
